



国際ロータリークラブ第2670地区徳島第2分区

## 美馬ロータリークラブ週報

2011年1月18日 火曜日 Vol.226

- |          |               |       |       |
|----------|---------------|-------|-------|
| ■ 例会出席者  | 20名 (会員総数31名) | 出席率   | 64.5% |
| ■ メーキャップ |               | 修正出席率 | 67.7% |
| ■ ゲスト    | 矢野 太一君        |       |       |
| ■ 会長挨拶   | 廣川 公利会長       |       |       |

厳しい寒さが続いておりますがお元気でしょうか？

就職内定率68.8%と大変な数字となっております学生と企業との mismatch も多いと言われております。大学進学率も高く、生徒数も多いので単純比較はできないと思いますが、早く春が来るような思い切った政策も必要ではないでしょうか！

年明けより多くの国々で自然災害が多発しています。昔から”天災は忘れた頃にやってくる”と言われておりますので、皆さん非常時に備えてある物品などの check をしておきましょう。

### ■ 幹事報告 田中 義美幹事

#### 到着書類

- ・2009-2010年度地区概況
- ・週報 鴨島RC・脇町RC
- ・2010年手続要覧(ロータリアンの手引き)

#### 連絡事項

- ・2010-2011年度地区大会(4月15日~17日開催)登録へのお願い。申込締切日……2月18日
- ・第33回RYLA(ライラ)セミナーの開催。2011年3月24日~27日(開催地:与島)(お世話は森君)  
なお、2010年3月25日~28日のRYLAセミナーの報告書が到着しています。
- ・例会後の勉強会は来週に変更致します。
- ・ユネスコの世界寺子屋運動への寄付のお願い(取り纏めは伊良原君)
- ・美馬商高卒業生(インターアクト)への記念品の贈呈……16名にお送りします。
- ・例会出席率について  
前年度の出席率は82.32%です。ちなみに2010-2011年度上期の出席率は75.40%です。  
欠席者はメークアップをお願いします。(脇町RCでは木曜日の12:30~13:30が例会日です。)よろしくお願ひします。

### ■ 委員会報告

#### 奉仕プロジェクト(森)

- ・今月29日がガバナー補佐の第2回目の勉強会です。また、ガバナー補佐が短期交換の担当となります。本日インターアクト担当委員長が不在ですので、前田さん、美馬商業高校への働きかけ(短期交換についての)の業務がありますので含んでおいて下さい。
- ・2月12日~13日にライラの第3回目のカウンセラーミーティングが与島で開催されます。1泊2日のうちで1日の参加を考えています。3月の本番では会員の皆様には1日でも参加頂ければ有難いと思っています。

#### 世界社会奉仕担当(伊良原)

ユネスコへの寄付の件につきましては、書き損じハガキ・テレカ等々の寄付をお願いしています。2月1日までをお願いします。

#### 会計(青木・茂)

下期会費の引き落としを2月7日に行いますのでよろしくお願ひします。

## ■ 卓 話

長浦 保福君

### 「ロータリー財団の父、アーチC. クランフの人となり」

アーチC. クランフはロータリー財団の父と言われ、ロータリーをこよなく愛した人ですが、貧しい少年時代をへて実業家として大をなしたアーチ・クランフはまた、市民の指導者、フルート奏者、そしてスポーツマンとしても有名で、非常に活力に満ちた人でした。

### 若き日のアーチ・クランフ

アーチ・クランフは1869年6月6日、ペンシルバニア州・カンノートビルの貧しい家庭に生まれました。

アーチは大部分を独学で通し、12歳のとき、家計を支えるために学校を去りましたが、クリーブランドの社会福祉施設で夜学に通いながら学力の不足を解消しました。

16歳のとき、クリーブランドのCuyahoga Lumber Company という会社の給仕となり、1日1ドルの給料を貰っていましたが、まもなく出世して社長となり、28年後にはその会社のオーナーになりました。

アーチ・クランフは貧しい少年時代を過ごしましたが、ついには米国オハイオ州クリーブランドで実業家として大を成すに至ったのです。

### 比類なきロータリーへの貢献

しかし、彼が最も愛したのはロータリーでした。ロータリーの目的への献身は比類なきものでした。『ロータリーにとって奉仕の分野を広げる機会は無限にある』と彼は信じていたのです。

※1912～13年度(42～44歳)：クリーブランド・ロータリークラブ会長

彼は自分のことを『寝てもさめてもロータリー』の人間と言っています。クラブ会長としての最後のアドレスで、彼はあらゆる緊急事態に備えた非常事態基金の必要性を訴えました。

(中途 略)

※1928年(59歳)：ミネアポリス国際大会が財団の強化策を決定したとき、基金は米貨5000ドル以上に増えていました。そして、この基金をロータリー財団と改めました。その後、ロータリー財団管理委員を5年間務めました。

※1951年6月3日(82歳)：没す

輝かしいロータリー改革者の一人であったアーチ・クランフはクリーブランドで死去しました。

幸運な事に、ロータリー財団のために献身的な努力を続けたアーチ・クランフは、その存命中に自分の創設したロータリー財団が着実に育っていく姿を見届けることが出来たのです。

カンザス・シティー・ロータリー・クラブからの26ドル50セントの寄付で、1917年に始まった『非常事態基金』が今日、何百万ドルもの大事業に発展し、世界各地からの学生達に、自国よりも他国において優れている点を勉強する機会を与えているのです。

## ■ 欠席者

宇山、小田、小野、千葉、野々村、林、藤田、藤野、三好、山口、吉田

各会員メイクアップをお願いします

## ■ 次回例会

2011年1月25日(火) 18:30より レストラン西岡